



仕上げキット

Multi Pro® 1750 ターフスプレーヤ用フォームマーカ-

モデル番号 136-0457

取り付け要領

注 このキットの取り付けには、フォームマーカ-キットが必要です。詳細については弊社代理店におたずねください。

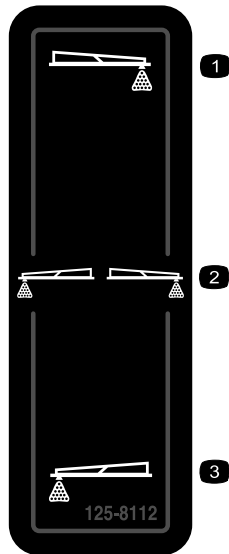
安全について

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

安全ラベルと指示ラベル



セーフティラベルや指示は危険な個所のオペレーターから見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼り直してください。



125-8112

decal125-8112

- 1. 右ブーム
- 2. 左右のブーム
- 3. 左ブーム



取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行う。
2	ブラケット ボルト5/16 x 1" ワッシャ3/8 インチ ナット5/16" フォームマーカ 別売品	1 4 4 4 1	フォームマーカのコンプレッサをブラケットに取り付けます。
3	キャリッジボルト ボルト フランジナット3/8 インチ スペーサ R クランプ	1 1 3 1 1	仕上げキット用ブラケットを取り付けます。
4	ワイヤハーネス スイッチブラケット ロッカースイッチ パドルスイッチ ボルト M6 ヒューズ, 15 A	1 1 1 1 2 1	ワイヤハーネスを敷設しスイッチを取り付けます。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止させてキーを抜き取る。

バッテリーの接続を外す; オペレーターズマニュアルを参照。

2

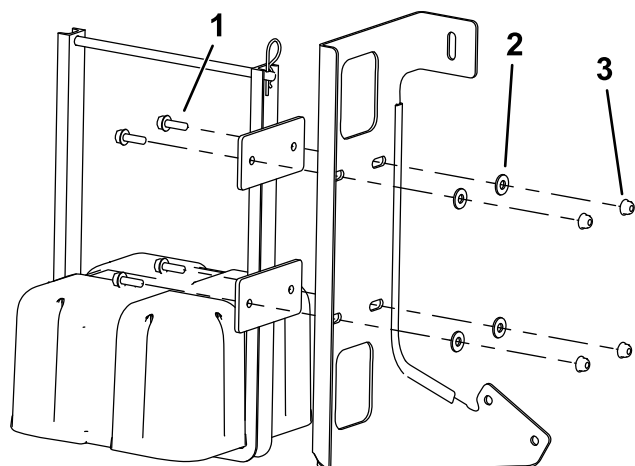
フォームマーカのコンプレッサをブラケットに取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ブラケット
4	ボルト5/16 x 1"
4	ワッシャ3/8 インチ
4	ナット5/16"
1	フォームマーカ 別売品

手順

フォームマーカのコンプレッサを図 1 のようにブラケットに取り付ける。



g200499

図 1

1. ボルト5/16 x 1 インチ
2. ワッシャ3/8 インチ
3. ナット(5/16 インチ)

3

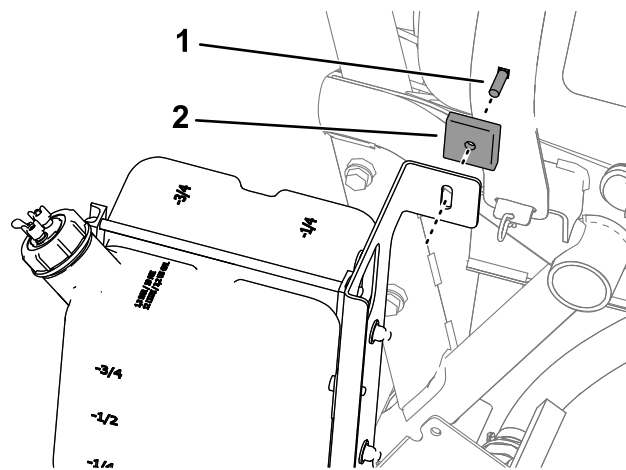
コンプレッサとブラケットを機体に取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	キャリッジボルト
1	ボルト
3	フランジナット3/8 インチ
1	スペーサ
1	R クランプ

手順

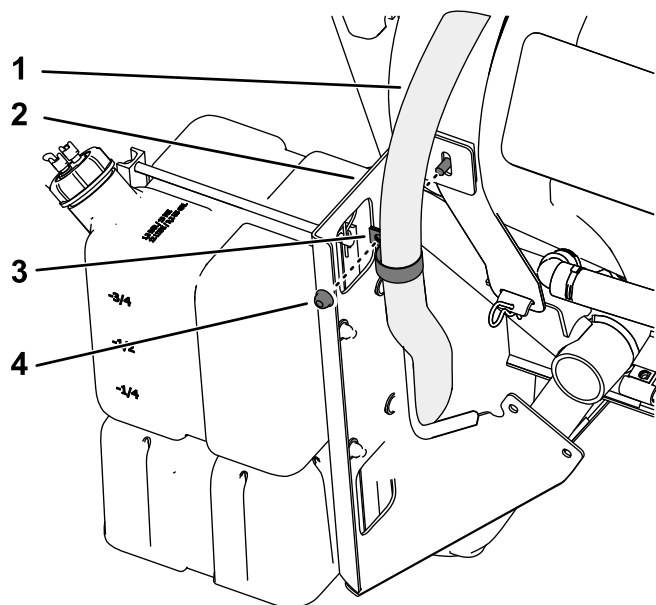
1. スプレーヤのタンク固定ベルト上部のストラップのボルトをゆるめてキャリッジボルトを通す図 2。



g200500

図 2

1. キャリッジボルト
2. スペーサ
2. ボルトにスペーサを取り付け、このボルトにブラケットを図 2 のように取り付ける。
3. ポンプ吸い込み用ホースをRクランプに通す図 3。
4. Rクランプを、ナットでボルトに固定する図 3。

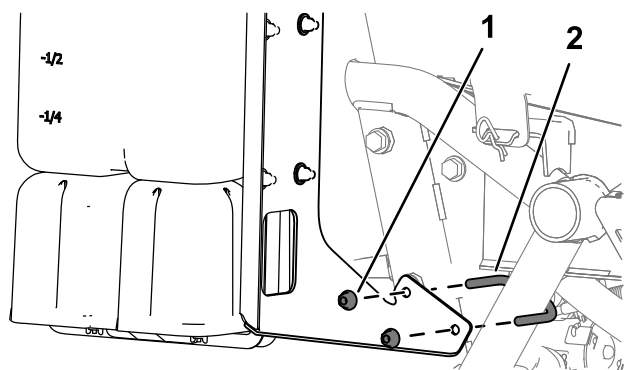


g200501

図 3

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. ポンプ吸い込み用ホース | 3. R クランプ |
| 2. ブラケット | 4. フランジナット 3/8 インチ |

5. 図 4 に示すように U ボルトを配置する。



g200498

図 4

- | | |
|--------------------|--------|
| 1. フランジナット 3/8 インチ | 2. ボルト |
|--------------------|--------|

6. U ボルトにブラケットを取り付け、フランジナット 3/8 インチ 2 個で固定する。

4

ワイヤハーネスを敷設しスイッチを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ワイヤハーネス
1	スイッチブラケット
1	ロッカースイッチ
1	パドルスイッチ
2	ボルト M6
1	ヒューズ, 15 A

手順

注 運転席を倒す。

1. フォームマーカのコンプレッサからのワイヤハーネスを、ROPSの後ろからガードプレートの下に配設する 図 5。

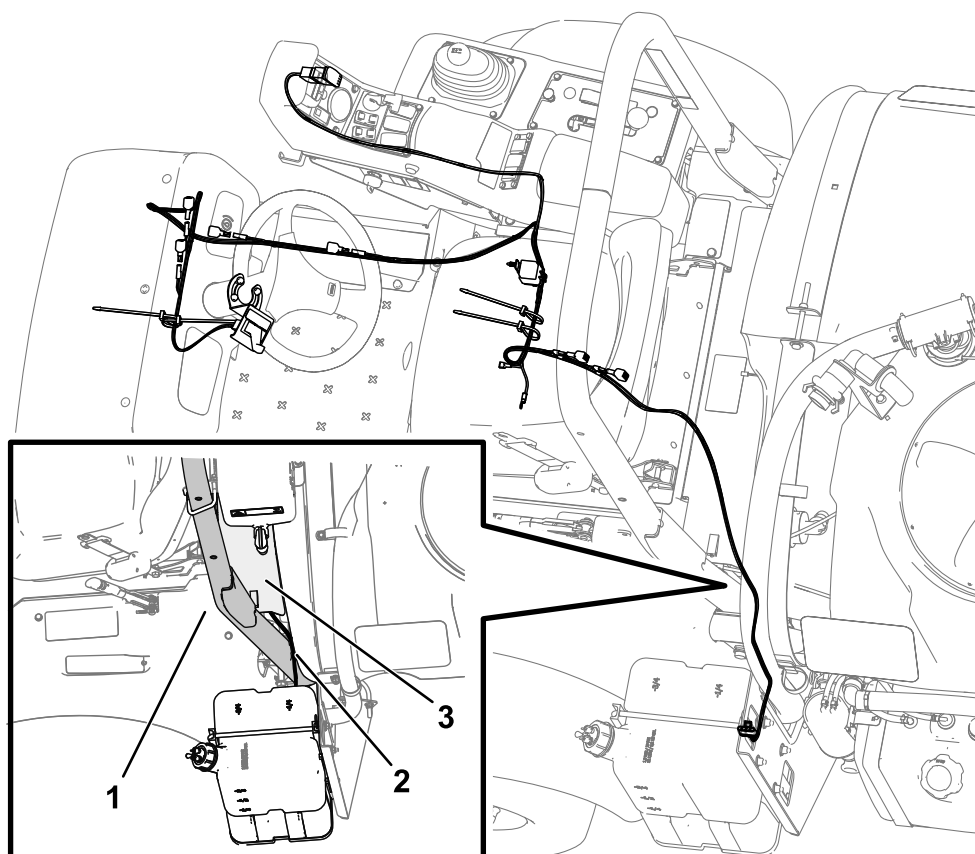


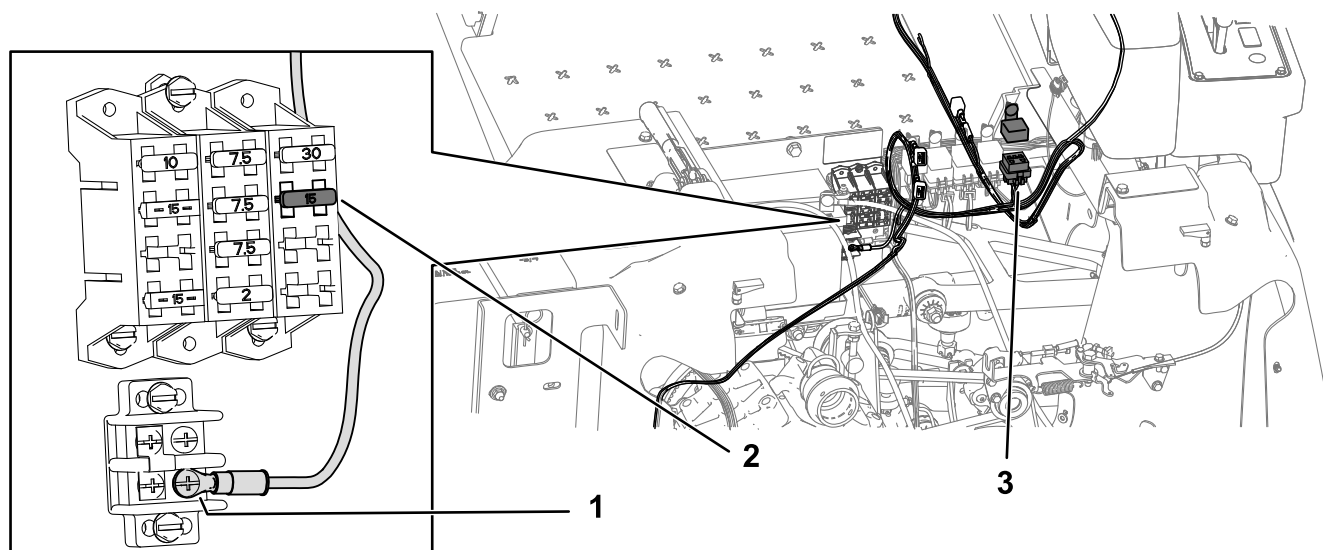
図 5

g200673

1. ROPS
2. ワイヤハーネス

3. ガードプレート

2. アース線とリレースイッチを接続し、ヒューズブロックに 15 A ヒューズを取り付ける図 6。

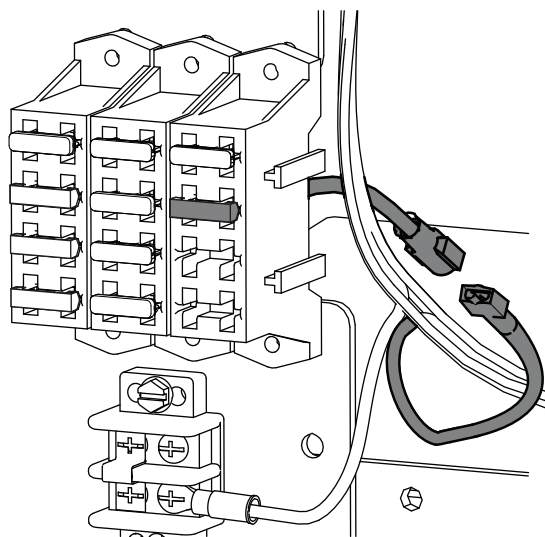


g200670

図 6

1. アース線
2. ヒューズ, 15 A
3. リレースイッチ

3. ブレードコネクタを、電源用ヒューズブロックのソケットコネクタに接続する。



g535916

図 7

4. 車両用ハーネスに沿ってワイヤハーネスをコントロールパネルまで導く(図 8)。

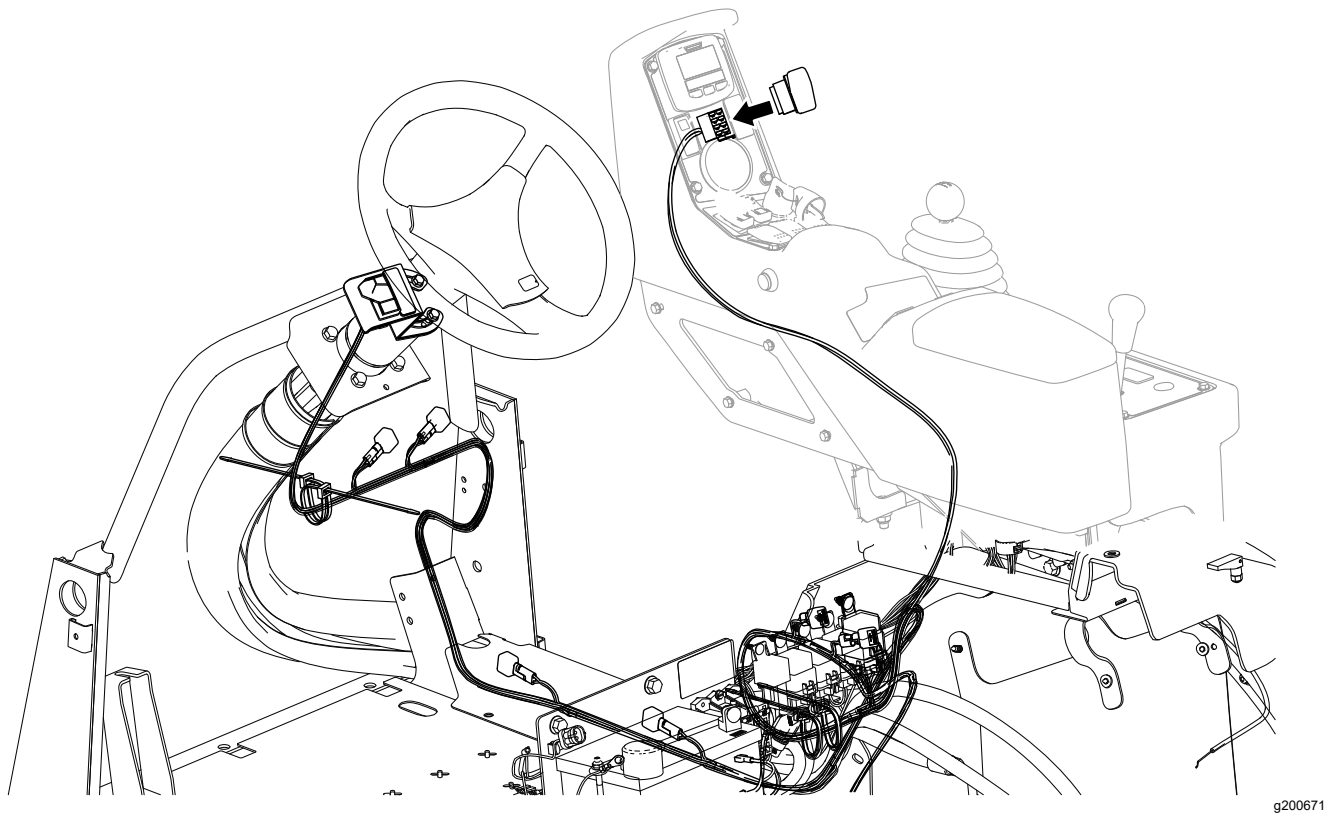


図 8

5. ハーネスにロッカースイッチを接続する(図 8)。
6. ハーネスを、パネル下からフロアプレートの上へ出し、ステアリングコラムへ導く(図 9)。

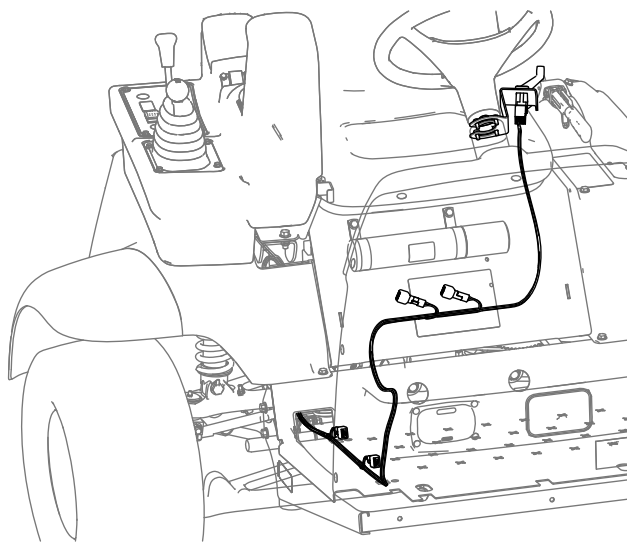


図 9

7. ボルトM62本を使用して、ステアリングコラムにパドルスイッチ用ブラケットを取り付ける

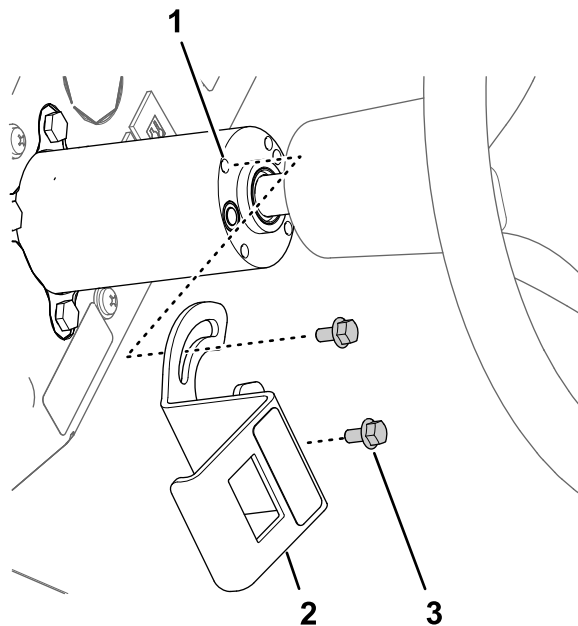


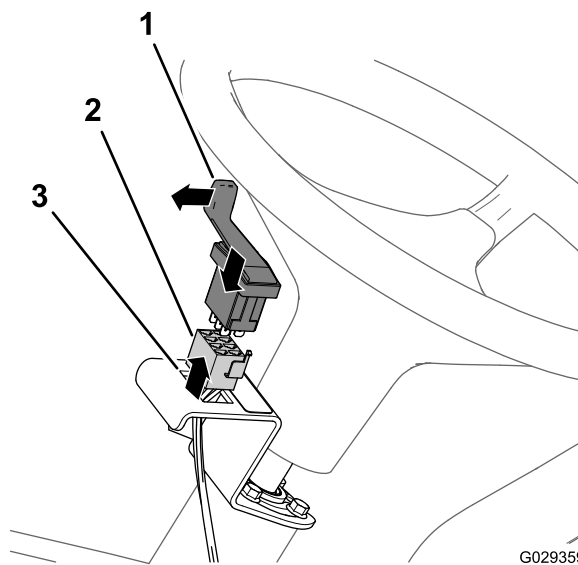
図 10

g422055

- 1. ねじ付きインサートステアリングコラム
- 2. 取り付けブラケット泡制御スイッチ

- 3. フランジヘッドボルト 6 x 12 mm

8. ブラケットにスイッチを組み込む。ブラケットの開口部にスイッチがパチンとはまるまで完全に押し込むこと。



G029359

図 11

g029359

- 1. 3ポジション・パドルスイッチ泡制御スイッチ
- 2. 8ソケットコネクタ

- 3. 開口部泡制御スイッチの取り付けブラケット

注 3ポジション・パドルスイッチ 泡制御 スイッチ のパドルが外側を向くように取り付けてください。

運転操作

コントロールを使用する

マーカ用パドルスイッチ コンプレッサを作動させて左右いずれかのブームに泡の流れを送り出します 図 11。

マーカ用 ON/OFF スイッチ コンプレッサを作動させて左右両方のブームに同時に泡の流れを送り出します 図 8。

インジケータマーク タンクの側面についていて、タンク内部の溶液の量を示します。

泡密度調節バルブ 泡生成液の濃度を調節します。バルブを操作することにより、ノズルに送り出される石鹼液の量を調整することができます。量を多くすると泡が大きくなり、同じ時間内により多くの泡が落ちるようになります。量を少なくすると泡が小さくなり、落ちる泡の数も少なくなります 図 12。

注 風が強い日には、水分の多い泡にすると飛ばされにくくて便利です。

圧力解放バルブ タンクのキャップについている赤いタブを外側に引っ張るとタンク内の圧力が解放されます 図 12。

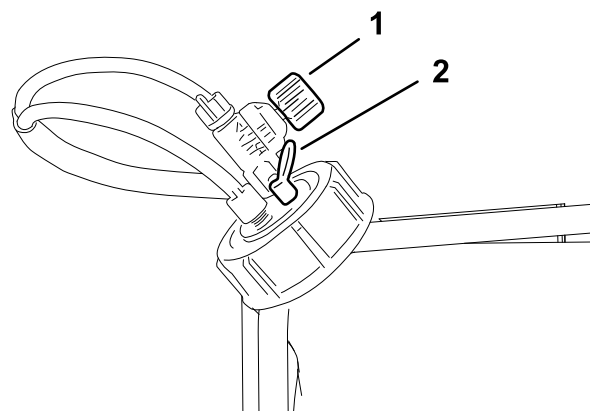
タンクに発泡剤を入れ、泡密度を調節する

重要 使い終わった後は、真水で内部を洗ってください。特に硬水で使用する場合には、使用後の洗浄を徹底してください。潤滑油、グリスなど、石油系の製品を、コンプレッサモーター・アセンブリに使用しないでください。

1. コンソールのブームスイッチが左右ともOFFになっていることを確認する。
2. 赤いタブ圧力解放タブを外側に引いて内圧を解放し、タンクの黒いキャップを外す。
3. タンクに適当量の水を入れ、次に、タンク上部の口から発泡原液を入れる。原液は原液メーカーの指示に従って取り扱う。

重要 水のpH値が極端な場合硬水/軟水は、濃縮発泡剤の必要量が変わります。

4. タンクにキャップをはめ、手で締め付ける。
5. とりあえずの設定として、泡密度調節バルブを1/8 1/4回転、開ける 図 12。



g200674

図 12

1. 泡密度調節バルブ
2. 圧力解放バルブ

6. マーキングシステムの操作を開始し、地面でテストする。

注 泡は最初の12分で配管に行き渡る。

7. 泡密度調節バルブで所望の濃度に調節し、ふつうに散布作業を行う。

注 泡をライン内に2時間以上残したままにすると、泡が水っぽくなる場合があります。2時間以上の中断の後で作業を再開するときは、12分回して余分な水を抜いてください。

泡の水気が多すぎる場合は、次の手順を行ってください。

- A. 泡密度調節バルブを完全に閉じる。
- B. 2分間運転する。
- C. 1分待ってから泡の密度を確認する。
- D. 所望の密度になるまで調節する。

メモ

メモ



Count on it.